

平成12年9月16日

郵政省 電気通信局

電気通信事業部事業政策課 担当者殿

「IT革命を推進するための電気通信事業における競争政策の在り方について」

我が家の敷地にも電柱があるが、最近新聞記事などでよく見かける「電柱開放」について、一市民として意見を申し述べたい。

決して広くない我が家の敷地にとって、電柱はじま物以外の何物でもない。

しかし、我が家も電気も電話も使っており、近所との関係もあるので、これまで仕方なく電柱を置かせて来た。

でも、本来、電柱は、電気とか電話とかそういった公共のものに使われるのだから、道路に置くべきであり、特定個人に負担を押しつけるのはおかしいと思う。

「IT革命だかなんだかよくわからないが、要は、いろんな業者が通信事業でひと儲けしようということだろう。

確かに、結果的に通信料金が安くなるのは結構なことかもしれないが、儲け優先で、見えないところでいろいろ手抜きするのではないか。

例えば、我が家に置かせている電柱にも、道路の反対側にある電柱にも、なんだかよくわからない線がいっぱい載っている。中には、きちんとつけてなくて、随分きたならしいものもある。ちょうど2階の窓あたりの高さに、太いのが無秩序に視界を横切っており、昔々なんかかならないのかと思っている。地主である我が家に断りもなく電線工事をしていくのも許せないところである。

また、つい先日、CATV業者が営業車を我が家の駐車場の前に長時間放置し大迷惑したばかりである。こんなモラルの低い業者が横行すると思うとぞっとする。

人の家にある電柱を、「電柱開放」とか言って、地主の知らないところで勝手なことをするのは絶対に許されない。

「電柱開放」を国が推奨していくのであれば、電柱で迷惑している地主のことを第一に考え、まずは、こういう汚らしい状態の改善を厳しく指導すべきである。

開放の名の下に、公共と言えるのかもよくわからない業者が、やたら電柱に物を載せるなどというのは論外である。

以上

氏名 新井 平博

住所

連絡先